

抗 Rpn11 / Pad1 (*S. pombe*) 抗体, ウサギ血清

63-133 100 ul

保存: 4°Cで輸送、-20°Cで保存

反応特異性: *S. pombe* Rpn11 / Pad1

抗原: リコンビナント *S. pombe* 全長 Rpn11/ Pad1

用途:

1. ウェスタンブロッティング (1/300~1/1,000)
2. 免疫沈降

形状: 0.05% sodium azide 添加血清

背景: 分裂酵母 *Schizosaccharomyces pombe* の **Rpn11/ Pad1** は 34.6 kDa のタンパク質で、ユビキチン化されたタンパク質の ATP 依存性分解を行っている 26S プロテアソームの構成成分である。Transcription factor の Pap1 は positive regulator の **Rpn11/ Pad1**、negative regulator の Crm1 と相互作用することによって制御されている。どちらのタンパク質も細胞の生存に不可欠であり、また染色体構造を保つのに必要である。**Rpn11/ Pad1** は staurosporine 耐性に必要であり、またその他の薬剤 cycloheximide や caffeine への耐性にも必要である。

データリンク: Swiss-Prot [P41878](#)

文献: この抗体は以下の文献で用いられた。

1. Shimanuki M *et al* "A novel essential fission yeast gene pad1⁺ positively regulates pap1⁺-dependent transcription and is implicated in the maintenance of chromosome structure." *J Cell Sci* **108**: 569-579 (1995) PMID: [7769002](#)
2. Tatebe H and Yanagida M "Cut8, essential for anaphase, controls localization of 26S proteasome, facilitating destruction of cyclin and Cut2." *Curr Biol.* **10**:1329-1338 (2000) PMID: [11084332](#)
3. Takeda K and Yanagida M "Regulation of nuclear proteasome by Rhp6/Ubc2 through ubiquitination and destruction of the sensor and anchor Cut8." *Cell* **122**:393-405 (2005) PMID: [16096059](#)

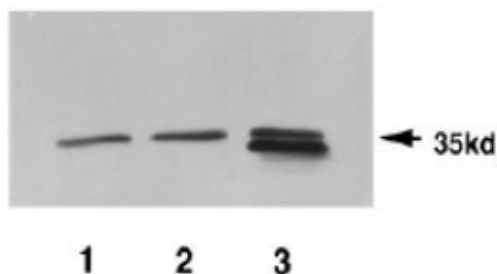


図. 抗 Rpn11 抗体を用いたウェスタンブロットによる分裂酵母粗抽出中の Rpn11 タンパク質の同定.

1. 内在性の Rpn11 タンパク質
2. 野生型 *rpn11* 遺伝子をプラズミド上を持つ細胞中に発現した Rpn11 タンパク質
3. 野生型と欠失型 Rpn11 遺伝子をプラズミド上を持つ細胞中に発現した Rpn11 タンパク質 (34.6 kD と 33.0 kD)